

市民意識調査

「まちづくり」にあなたの声を アンケート結果

企画財政課企画経営室 ☎(25) 1101

市では、将来都市像を「真珠のようにきらり輝く鳥羽」とし、市民と共にめざすまちの姿として施策目標を掲げ、平成28年度から第5次鳥羽市総合計画における後期基本計画および、平成27年度から各種団体・事業所の有識者によって作成した、鳥羽市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、さまざまな事業に取り組んでいます。

めざすまちの姿にどの程度近づいているかを総合的に確認するために、市民のみならずから施策目標の重要度や満足度をアンケートにより伺いました。このアンケート結果をもとに今後の施策や事業に取り組んでいきます。

調査対象

平成30年7月に市内在住の18歳以上の市民2000人のかたを無作為抽出で選び531人(26.55%)のかたから回答をいただきました。

回答者の年代別割合

回答者の年代別割合は次の表のとおりです。

10歳代	0.4%
20歳代	4.1%
30歳代	7.0%
40歳代	11.9%
50歳代	13.4%
60歳代	26.7%
70歳代	25.2%
80歳代	9.0%

市政に対する満足度・重要度

重要度が高かった施策

- 1位 いざという時の受診体制を整える。
- 2位 消防・救急体制を充実する。
- 3位 安全で安定した水を提供する。
- 4位 災害から市民生活を守る。
- 5位 若者の地元での就職や起業を支える。

重要度が低かった施策

- 1位 地域づくりに歴史文化を活かす。
- 2位 市民・来訪者が歴史文化を楽しみ、憩える場をつくる。
- 3位 農業に触れる機会をつくる。

満足度が高かった施策

- 1位 安全で安定した水を提供する。
- 2位 健康づくりに対する意識を高める。
- 3位 消防・救急体制を充実する。
- 4位 地域ぐるみで子どもたちを育てる。
- 5位 生活トラブルから市民を守る。

満足度が低かった施策

- 1位 若者の地元での就職や起業を支える。
- 2位 将来性のある企業活動・ビジネスを育てる。
- 3位 若者たちの出会い・家族の憩いの場をつくる。



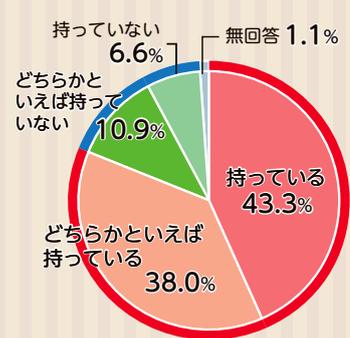
市政における関心事項

48.6%のかたが市政に関心があると答えており、関心の内容は、「市政の今後の方向性」「税金の使いみち」「市の事業計画」の順に高くなっています。



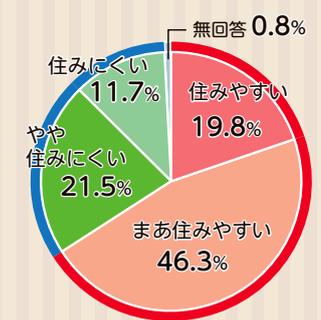
鳥羽への愛着

Yes 81.3% No 17.5%



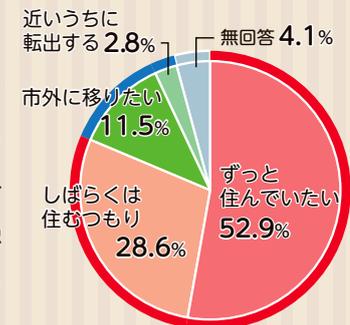
鳥羽の住みやすさ

Yes 66.1% No 33.2%



今後の定住について

Yes 81.5% No 14.3%



43.3%のかたが鳥羽への愛着を「持っている」、38.0%のかたが「どちらかといえば持っている」と答えており、平成29年度の調査と比べると少し下がっています。また、地域別では鏡浦地区、離島地区、鳥羽地区の順で鳥羽への愛着を持っているかたの割合が高い傾向にあります。

19.8%のかたが「住みやすい」、46.3%のかたが「まあ住みやすい」と答えており、21.5%のかたが「やや住みにくい」、11.7%のかたが「住みにくい」と答えています。平成29年度の調査と比べ住みにくいと感ずるかたが増えています。

52.9%のかたが「ずっと住んでいたい」、28.6%のかたが「しばらくは住むつもり」と答え、定住に前向きなかたが81.5%となり、平成29年度の調査と比べ2.3%上がっています。特に20代、30代においては交通の便が悪い、買い物に不便である、医療・福祉が充実していないといった理由から、「市外に移りたい」「近いうちに転出する」といった傾向が見られます。